令和 6 年度学校給食費無償化に関するアンケート集計結果

富士吉田市教育委員会
学校給食センター

本市では、市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減と、子育て世代を支援するため、令和元年 10 月から学校給食費無償化を実施しています。給食費無償化では、これまで保護者の皆さまにご負担いただいていた、小学生 1 人あたり年額　約 46,000 円、中学生 1 人あたり　約 49,000 円を補助しています。全体では今年度は 1 年間で約 1 億 5 千万円の費用となります。この費用は、市民の皆様からの税金をはじめ、国の交付金やふるさと納税のご寄附を活用して賄っています。

このようにして実現している給食費無償化について、保護者の皆様のご意見をお伺いし、子育て支援政策の効果や、今後の課題を把握するため、アンケートを実施しました。アンケート調査の結果について、以下のとおり報告します。

【 対 象 者 】　市立小学校 7 校　6 年生児童保護者　370 名
市立中学校 4 校　3 年生生徒保護者　374 名
合計　744 名

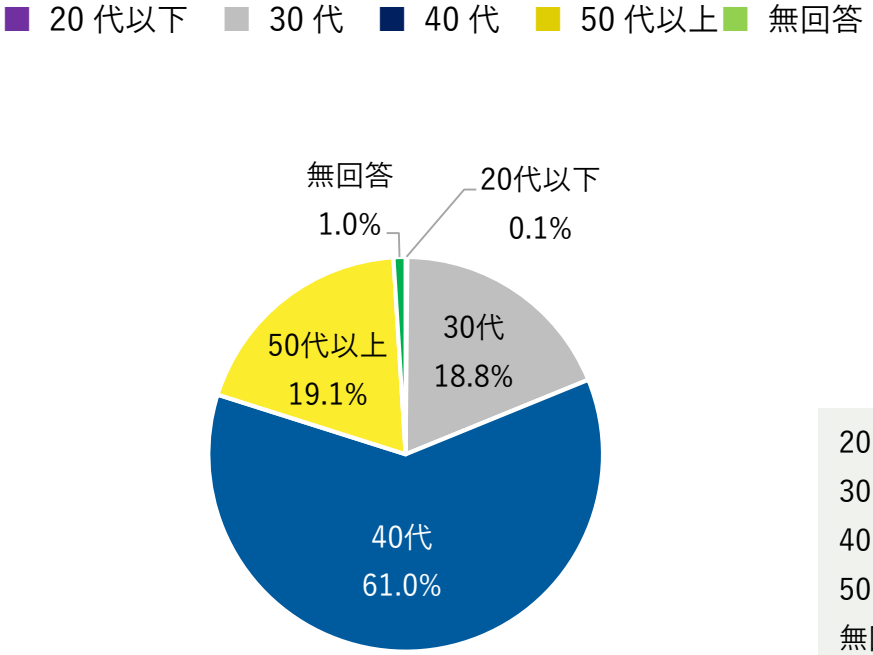
【 実 施 時 期 】　令和 6 年 10 月 1 日～令和 6 年 10 月 31 日（保護者〆切）

【 実 施 方 法 】　各校のあいシステムを活用し、アンケート URL を送付
上記の方法が難しい場合は、紙媒体を担任教諭を通じ配布・回収
※令和 6 年度紙媒体での提出はなし

【 回 答 率 】

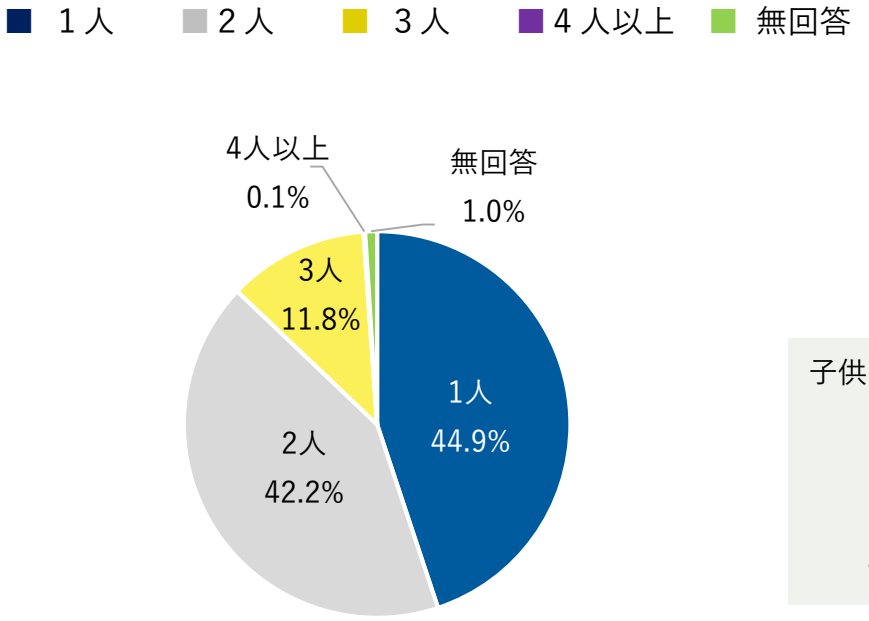
	対象者数	回答者数	回答率	参考：R5 年度回答
小学校　計	370	356	96.2%	92.8%
中学校　計	374	344	92.0%	97.0%
在籍校未記入	－	6	－	－
小中学校　計	744	706	94.9%	95.0%

問１　回答される方の年代を教えてください。



20 代以下	1 人 /706 人
30 代	132 人 / 706 人
40 代	431 人 / 706 人
50 代以上	135 人 / 706 人
無回答	7 人 /706 人

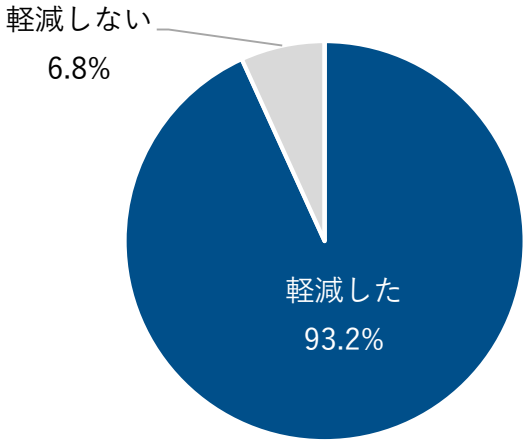
問２　現在、富士吉田市立の小中学校に在籍しているお子様は何名ですか？



子供１人	317 人 / 706 人
2 人	298 人 / 706 人
3 人	83 人 / 706 人
4 人以上	1 人 / 706 人
無回答	7 人 / 706 人

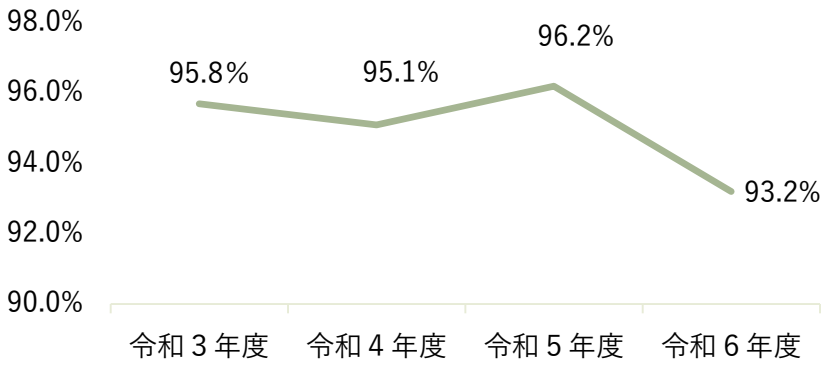
問３　給食費が無償化となったことにより、経済的負担は軽減されましたか？
また、軽減しないと回答された方は、その理由も教えてください。

■ 軽減した　　■ 軽減しない



軽減した	658 人 / 706 人
軽減しない	48 人 / 706 人

参考：「軽減した」と回答した割合の推移



【軽減しないと回答された方の主な理由】（抜粋）

・　物価高騰により軽減したと感じない。　１６件
・　受験や塾、消耗品のジャージや靴、私学に通う兄弟の費用など他にかかる。　８件
・　不登校で毎日自宅でご飯を用意している、ひとり親のため無償化開始以前から無償化だった　等、変わらない。　５件
・　あまり影響が分からない、実感がない。　３件

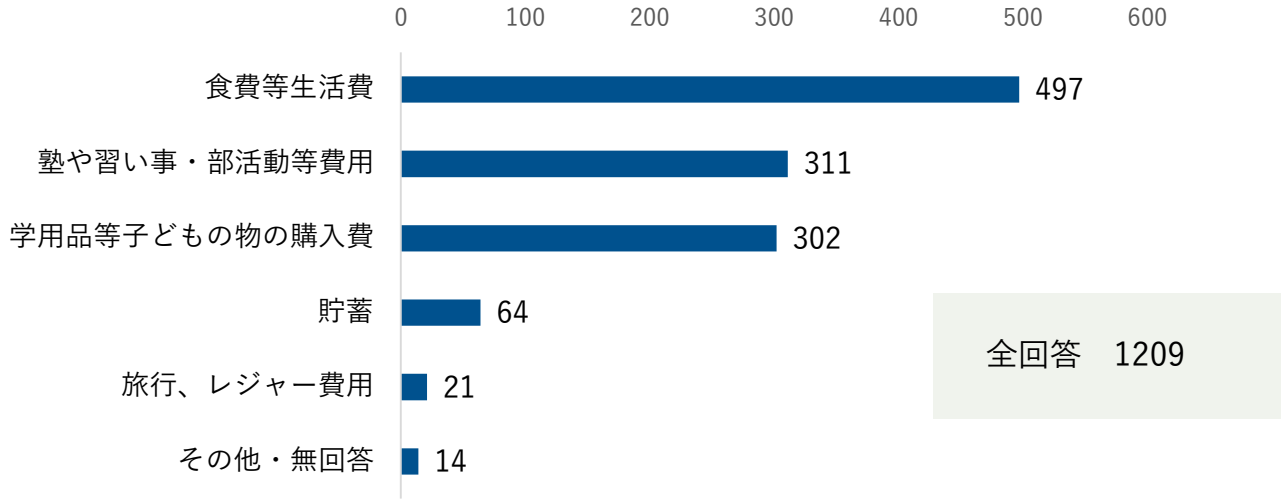
問３　まとめ

今年度、回答された方の 93.2％が給食費無償化により経済的負担が軽減されたと感じており、令和３年度以降で一番低い割合となった。

「経済的負担が軽減しない」と回答された方の主な理由の半数が、「物価高騰」を原因としている。お米をはじめとする様々な物価の値上がりが、各家庭に大きく影響していると思われる。また、小学生については 1～6 年生まで、すべてが小学校１年生から給食費無償化が開始していることもあり、経済的支援を受けていると感じにくくなっていることも推測される。

問４　給食費が無償化されたことにより、給食費に充てていた費用はどのようなものに活用できるようになりましたか？（複数回答可）

問４　給食費に充てていた費用の活用先



参考：活用先の割合の推移

年度 （全回答数）	令和３年度 （1148 件）	令和４年度 （1210 件）	令和５年度 （1200 件）	令和６年度 （1209 件）
食費等生活費	40.7%	40.1%	38.6%	41.1%
塾や習い事・部活動等費用	25.0%	25.4%	27.3%	25.7%
学用品等子どもの物の購入費	23.3%	28.2%	25.4%	25.0%
貯蓄	8.5%	4.2%	5.1%	5.3%
旅行、レジャー費用	1.6%	1.9%	1.8%	1.7%
その他・無回答	0.9%	0.2%	1.8%	1.2%

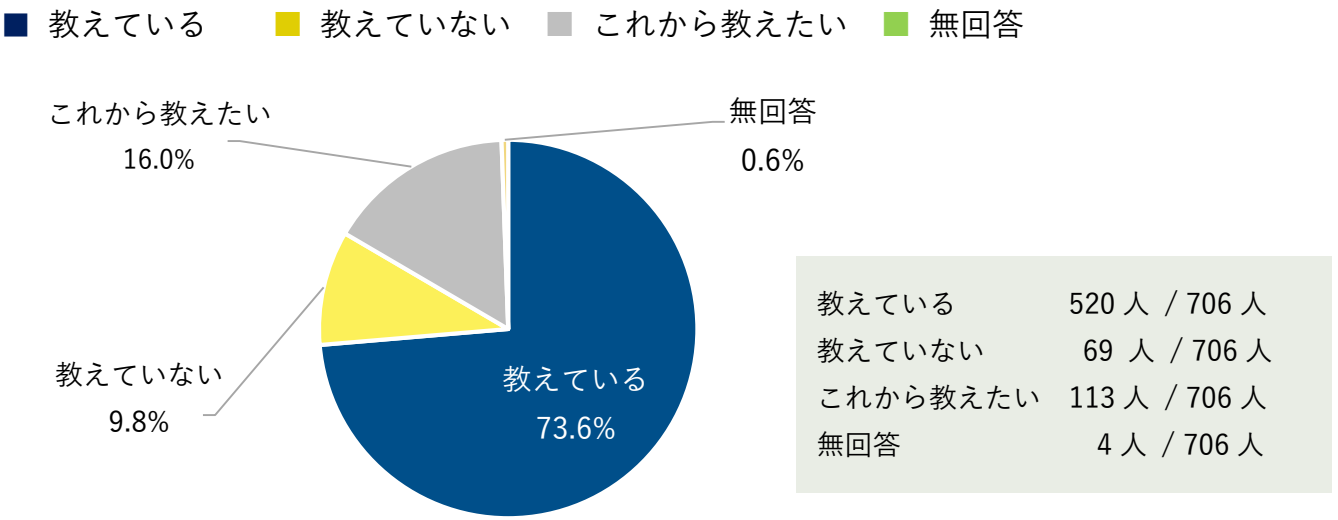
【その他の意見】

・補填できるほどでなない	1 件
・特になし・何も変わらない・不明	5 件
・フードバンクへの寄付	1 件

問４　まとめ

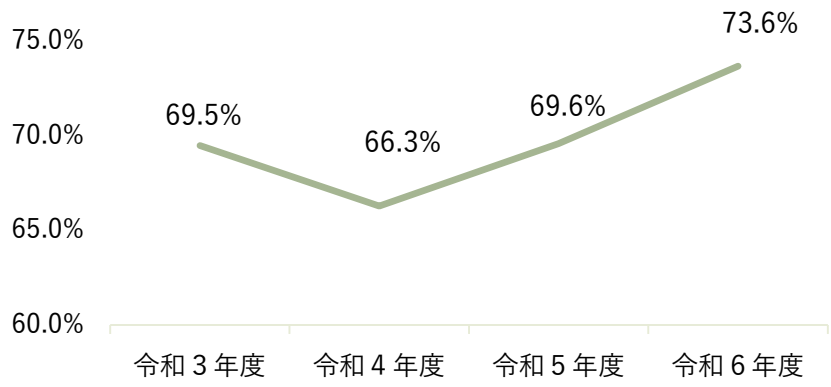
この設問についても、令和３年以降、回答の割合は同様の結果となった。
令和３年度以降、全体の約 40％程度の活用先が食費等生活費であり、「学用品等子供の物の購入費」「学習塾や習い事、部活等」が年によって、若干の差異はあるが、25％前後であった。旅行やレジャー費用へ活用できる割合は例年 2％以下であり、給食費に充てていた費用は、食費を含め、子どものための日常経費として使われているといえる。

問５　お子様に学校給食費が無償化されていることを教えていますか？

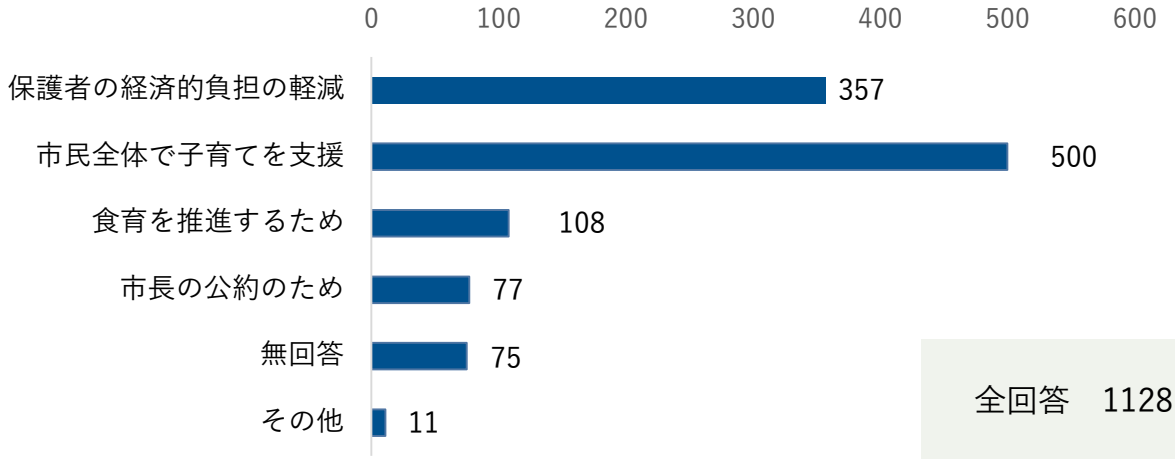


教えている	520 人 / 706 人
教えていない	69 人 / 706 人
これから教えたい	113 人 / 706 人
無回答	4 人 / 706 人

参考：給食費が無償化されていることを「教えている」と回答した割合の推移



問６　問５で「教えている」「これから教えたい」と答えた方にお尋ねします。
給食費が無償化になった理由をどのように説明していますか？
または、どのように説明したいと考えますか？（複数回答可）



参考：無償化になった理由の割合の推移

年度 （全回答数）	令和３年度 （961 件）	令和４年度 （945 件）	令和５年度 （1016 件）	令和６年度 （1128 件）
市民全体で子育てを支援するため	45.9%	51.7%	47.6%	44.3%
保護者の経済的負担の軽減	35.8%	32.4%	35.6%	31.6%
食育を推進するため	9.1%	10.1%	9.9%	9.6%
市長の公約のため	7.1%	4.6%	5.8%	6.8%
その他・無回答	2.1%	1.2%	1.1%	7.7%

【その他の意見】
・ふるさと納税のお陰
・お便りを見せている。
・行政の皆様がふるさと納税を一生懸命アピールしてくださった為、全国の皆さんが富士吉田市に興味を持ってくれた。
・元々子供自身が知っていた。
・当たり前では無く国・県・市や地域の皆さんのお陰で今ご飯を食べられ生きている事に感謝。心育ての為に伝えたい。
・ふるさと納税の一部で賄われているため。
・ふるさと納税で全国の人から支援してもらっている。
・富士吉田市の財政がふるさと納税等で潤っていて子育てにも力を入れてくれているから。

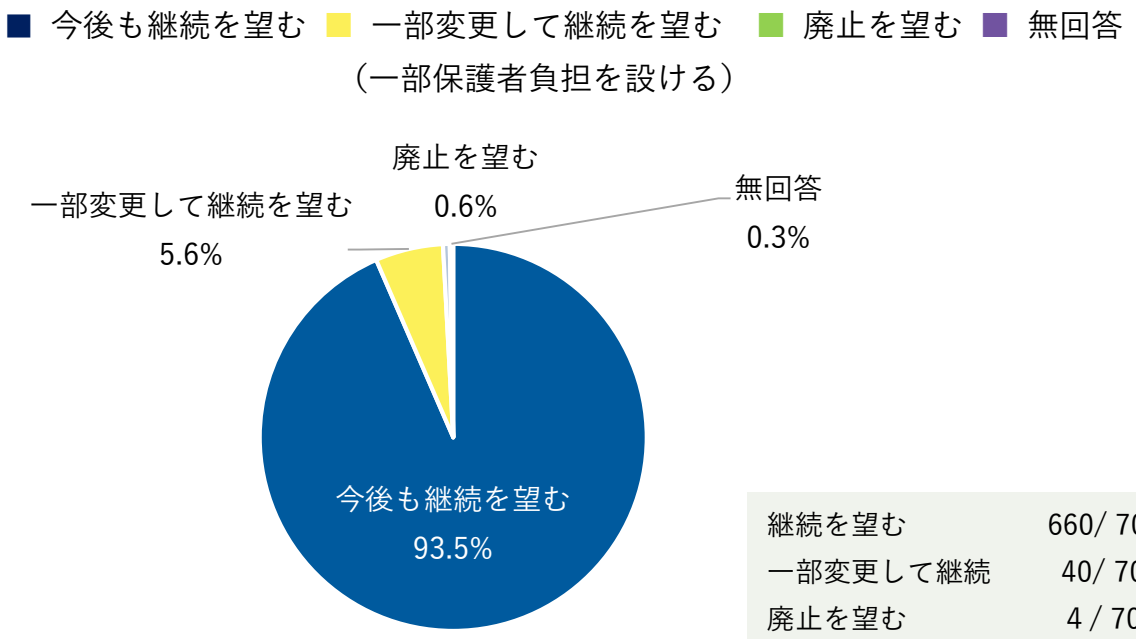
問５・６　まとめ

給食費が無償化であることを「教えている」割合が、令和４・5・6 年度と３～４％ずつ増えており、若干ではあるが、各家庭で給食費無償化について、児童生徒へ伝えている割合が増えている。また、今回は令和３年度以降初めて70％を超える結果となった。

教えている理由の割合については、令和３年度以降あまり大差はないものの、各年「市民全体で子育てを支援するため」と回答する割合が最も多く、市の子育て支援政策の１つであると認識いただいていると思われる。

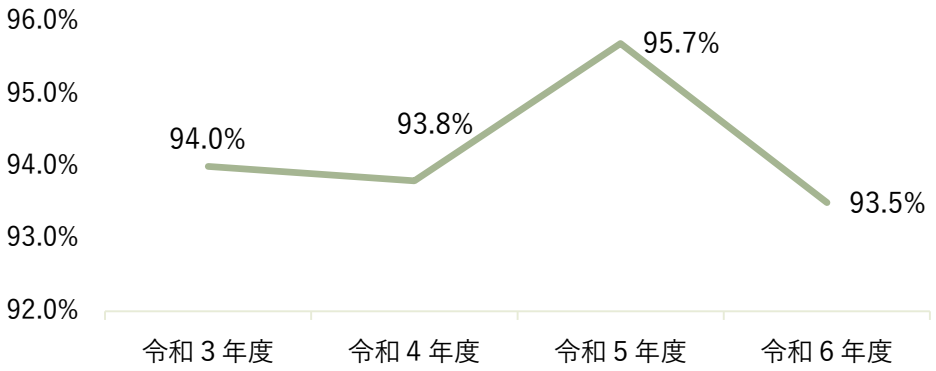
今回、その他の意見として、「教えなくても子供は元々知っていた」との回答もあったが、今後はご家庭への周知を継続して行っていくことはもちろん、お便りや学校訪問等の機会を活用する中で、児童生徒にも地域の住民の皆さんからの市税や、ふるさと納税のご寄付、国の交付金等を活用して、給食を無償で食べることができていること、また、このようにして提供されている給食を感謝の気持ちをもって、残さず食べることを伝えていくことも必要であると思われる。

問７　現在、実施している給食費無償化について、あなたの考えに近いものを、次の中から１つだけお答えください。また、その理由も回答ください。

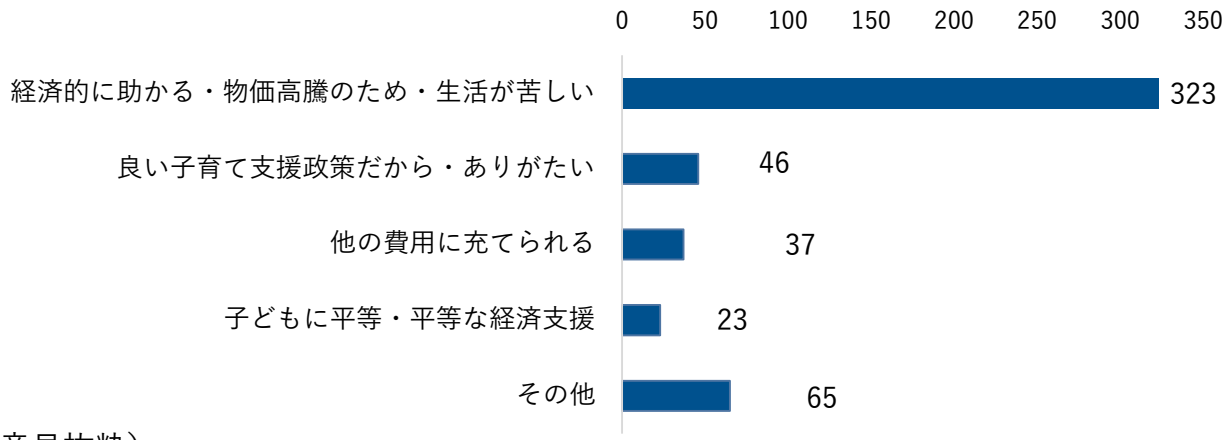


継続を望む	660/ 706 人
一部変更して継続	40/ 706 人
廃止を望む	4 / 706 人
無回答	2 / 706 人

参考：給食費無償化について「今後も継続を望む」と回答した割合の推移



■ 今後も継続を望む理由



（意見抜粋）

・　物価高騰で無償化は助かる。
・　物価が上がっている中で、経済的支援をして頂けるのは助かります。
・　無償で食べさせて頂いて感謝しています。今後、有料になったらもっと生活が苦しくなるから。
・　色々値上がりしてきて、その時の旬のものなどは食べさせる事が出来ていないです。本当は秋はブドウだけではなくて、栗ご飯も食べさせてあげたい。サンマも美味しいから食べさせてあけだい。でも高くて買えないのが現状です。１年通してある野菜や肉、魚でも高くて買うのを考えてしまいます。栄養もメニューも色々と考えていただき、ありがとうございます。今後もとても助かるので、このまま続けて欲しいです。
・　物価高騰により家庭への負担が増している為、給食費無償化によって家計への負担低減を今後も継続し実施して頂きたい。

など　経済的に助かる、物価高騰のため、生活が苦しいため　計 323 件

・　子育て世帯を支援することは、ひいては市全体の発展へと繋がるため。
・　これからも子育て支援として継続して欲しい。
・　他県での暮らしをした事がある為。他県のお友達に富士吉田市は子育てしやすく手厚い補助を受けれると誇らしい気持ちになります。
・　子育てしやすいから・まちづくりに繋がっているから。
・　市全体で子育て支援をしていると分かるから。

など　良い子育て支援制度、ありがたい制度だと思うため　計 46 件

・　その分の費用を、子供達の別の経費へまわしていきたい。
・　子供の身の回り品、これから必要となる高校の学費などに貯蓄できるから。
・　習い事や子供に必要なことに使用できるため。
・　子供の将来ために貯蓄をしたいと考えます。
・　毎月の様に食料品が値上がりしています。食べ盛りの年齢なので少しでも年間掛かる給食費が家庭の食費になれば有り難いです。

など　他の費用に充てられるため　計 37 件

・　経済的に困窮しているのは外部からはわかりにくいので、子供が心配なく安心して学校に通い一食でもバランスの取れた食事ができる事を願います。
・　生徒・児童がみんな平等に給食を食べられるようにして欲しいから。
・　高所得者の支払いも良い案だとは思いますが、子供達には関係ない部分なので、一律無償化が公平で良いと思います。
・　物価高騰など、子供が多い家庭は特に大変だと思います。無償化によって義務教育の中でどの家庭も恩恵を受けられる事はとても素晴らしい対策だと思います。
・　平等に同じ物を食べることができるから。
・　義務教育は平等であるべき。給食費が払えないご家庭もあるので、無償化にする事により子供達も平等と捉える事が出来ると思う。
・　全ての子供がひもじい思いをしてほしくないから。

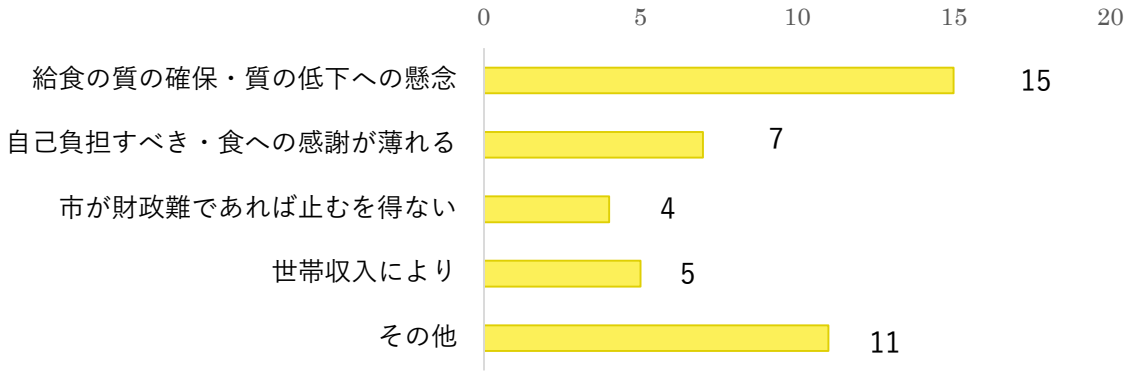
など　子ども・各家庭に平等な支援であるため　他　計 23 件

・　子供が欲しくても物価が高騰しすぎていて、金銭面に余裕があるか厳しいと思うから。1 人っ子ならまだ平気であっても 2 人目、3 人目は考えづらい環境なのかなと思う。給食費だけの問題ではないと思いますが。
・　税金の使い道としてより分かりやすく市民に還元されているところだから。
・　少子化対策になるから。
・　継続しないなら、なぜ始めたのか……。

・　これから子育て支援に一層力を入れていかなければならない。負担軽減になっている事業は始めたことを止めるのは難しいと感じる。
・　子供に税金等 理解してもらえる。
・　子供達は未来の納税者である。さらなる少子化が加速していく未来が確実視される中、国民全員で、社会全体で子供たちを育てていくという視点から、国費、国策で無償化することが妥当であると考える。
・　公的な教育に関わる費用が軽減されれば、少子化の歯止めに少しは効果が出ると思うから。

など　その他の意見　　計 65 件

■ 一部変更して継続を望む（一部保護者負担を設ける）理由



（意見抜粋）

・　無償化により給食の質を落としたくないため。学校において給食は 1 日のイベントであり、その楽しい時間を質の低下により損なわれたくないため。
・　食材費等が高騰する中、給食の質を維持するためには、一部保護者負担もやむを得ないと考えるため。
・　無償化になってから味が落ちたようです。それなら質を上げるために親が負担すべきだと思います。

など　給食の質や量を保つためであれば一部負担も必要　　計 15 件

・　受益者負担が基本。仮に一食 100 円の負担だとしても保護者はありがたいと思って払うと思う。無料は大変嬉しいが無料ということが当たり前だと思うことも思われることも良いことだとは思わない。親や子供が「無料だから平気で残す、お金を払っているから残さず食べる」ということにも繋がりかねない。
・　子どもに、食事を摂るためには、お金がかかることを伝えたい。
・　給食のありがたみを知ってもらいたいから。

など　自己負担すべき、食への感謝が薄れる　　計 7 件

・　無償化はとても助かっているが、市の負担になるようなら一部保護者負担になっても仕方がないと思う。
・　市の財政上の負担増加も考慮すべきであり一定の負担もやむなしと思う。

など　市が財政難であれば、止むを得ない　　計４件

・　負担が少ないに越したことはないが、収入によってある程度の負担はあって然るべき。
・　所得や納税額などで判断し、支払い能力がある家庭は給食費を払っても良いのでは無いかと考えています。しかしながらそんな事をしたら職員の方の負担も増えますし、トラブルの原因にもなりそうなので現実的ではないかもしれません。本当に困っている家庭を助けるべきです。
・　納税額が少ない世帯は給食費を一部負担してもいいのではないか？一定の所得に満たない世帯の負担を望みます。

など　世帯収入に応じて一部変更　　計５件

・　無償化は実感が沸かないので税金の使い方としては間違っている。
・　完全な無償でなくても（半額でも）少しでもありがたいと思うから。
・　一部負担しすることによって高校生に対しての補助もしてもらいたい。(パソコン購入費)
・　アレルギー等あるお子さんはお弁当だから不公平にならないため。

など　その他の意見　　計11件

■ 廃止を望む　理由

・　税金をもっと違うことに使ったほうがいいと思う。親は稼いでいるんだし。もっと困っている人はいる。
・　"タダでは給食のありがたみが伝わらない。結局は税金でつけが回ってくる。
給食費に特定しない給付金の方がありがたい。"
・　市民の税金です。何でも無償化にする必要はないと思います。医療費無料だけでもとても助かっています。子供だけでなくその他の必要な事に使ってほしいと思います。
・　住民の税金の負担が大きいと思うから。

計４件

問７　　まとめ

給食費無償化について各意見の割合は、令和３年度以降は大きな変化はなかった。「継続を希望する」と回答した方は、今年度は 93.5％であり、若干の差ではあるがここ４年で１番低い結果となった。一方、「廃止を希望する」と回答した方は 0.6％、「一部変更して継続を望む」と回答した方は 5.6％であり、ほぼ横ばいであった。

	R３年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
継続を希望する	94.0％	93.8％	95.7％	93.5％
一部変更して継続を望む	4.8％	5.2％	4.0％	5.6％
廃止を希望する	0.3％	0.6％	0.3％	0.6％
その他・無回答	0.9％	0.4％	0.0％	0.3％

「継続を希望する」と回答した方の理由は、「経済的に助かる」「物価高騰のため」という理由が圧倒的に多い。また、回答理由の中に、「物価高騰」「値上がり」といった言葉が多く使用されており、長引く物価高騰が、家計へ大きく影響していることがわかると言える。

「継続を希望する」と回答した方のうち、次に多い理由については、令和４・５年度は「他の費用に充てられる」であったが、今年度は「良い子育て支援制度だから」といった意見が多かった。

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
他の費用に充てられる	43 件	43 件	37 件
良い子育て支援制度だから・ありがたいから	29 件	27 件	46 件

中学生保護者の意見の中には、「子どもは今年で卒業だが、子育て世代にはとても助かる支援」、「子育て世代の今後の生活を支える為にも必要」といった意見もあり、各家庭への援助という考えだけではなく、本市の子育て世代への支援として継続してくべきである、考える方が増えてきていると思われる。

「一部変更して継続を望む」と回答した方の理由の多くが、昨年度同様「給食の質や量を確保できないのであれば止むを得ない」と考えていることが分かった。

給食の献立については、成長段階に応じ、必要な熱量や栄養素を確保するよう作成していることから、無償化になったことに因り、量を少なくしていることはない。

また、物価高騰による影響はあるものの、卸売業者等から情報情収集し、値上がりする前に計画的に購入したり、加工品を手作りのものに変えるなど、工夫をしながら、給食の質を落とすことのないよう、献立を工夫をして提供している。しかしながら、昨年度同様に、食材の質を落としたり、提供量を減らすなどをして給食費

食育を推進するためこうした保護者の皆さまの不安を解消するためにも、地産地消を推進しながら、安全性を十分に確認し、また成長段階に応じ、適量の給食を提供しているということを今後もさらに発信していく必要がある。

　また、令和４年度、私立中学への支援についてのご意見があったが、今年度は１件であった。本市で実施している、市立学校以外の小中学校に通学する児童生徒への同様の補助についても認識が深まってきていると言える。（R４年度　４件）